

<h1>そだて</h1> <p>第290号</p>	小千谷市 青少年育成センター	〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 0258-82-6771 e-mail: s-center@city.ojiya.niigata.jp URL <a href="http://www.city.ojiya.niigata.jp/">http://www.city.ojiya.niigata.jp/</a>
---------------------------	-------------------	---

## 「三惚れ（さんぼれ）」

小千谷警察署長 山崎 誠

今年の3月下旬、新潟県警察学校から小千谷警察署に赴任した。

警察学校は、「警察官のたまご」達を教育し、各警察署に送り届けることを目的とする、「そだて」の機関だ。

1月の最後の授業で10か月の課程を修了し旅立つ学生達に、昔、先輩から聞いた赴任地での心得の言葉「三惚れ」をはなむけとして贈った。

「三惚れ」とは「仕事に惚れ」、「土地に惚れ」、「人に惚れ」の3つに惚れることをいう。

この3つに惚れることで、その赴任地での仕事・暮らしは素晴らしいものになるといわれ、警察ばかりでなく広く転勤を伴う業種の方々の間で似たような使われ方をしてきたようだ。

私も学生の卒業から数か月遅れで小千谷警察署に着任し、まず手始めに小千谷地区の安心安全を守る組織の長として管内の様子を知ろうと、地理把握のために歩きだした。

そして、あっという間に小千谷の素晴らしさに魅了された。署員からトレーニングに最適と教えられた「城山」、そこから一望する街並み、元町の西脇順三郎詩作台から眺める越後三山の美しさ、山本山から見下ろす河岸段丘、初観戦で感動を覚えた「角突き」。

着任から、わずか1~2か月ですっかりと小千谷という土地に惚れ、城山から眼前に広がる美しい街並みに「この街の安心と安全を守るという重責」を痛感するとともに、残された警察官人生でこのような責を任される喜びを感じ、改めて自身の選んだ仕事に惚れ直した。

あとは歴代署長から受けた「小千谷の人は、親切な人達ばかり。」との引継ぎを、私自身が実感し、三惚れを完結させていきたい。

そして我々「旅人」ばかりではなく、風光明媚で歴史と伝統ある、ここ小千谷で育ち、暮らし、身近すぎてこの有り難さに気付いていない若者たちにこそ、もっと魅力あふれる小千谷に触れ、素晴らしさを理解し、この郷里を胸に刻んで成長して行ってほしい。

心の奥にそんな故郷<sup>ふるさと</sup>を抱いた若者達には、明るい未来が待っていると信じている。

青少年育成センター相談電話  
0258-82-6771  
e-mail [S-center@city.ojiya.niigata.jp](mailto:S-center@city.ojiya.niigata.jp)  
相談時間 13:00~16:00 (月~金) 祝日を除く

## 環境パトロールに参加して

小千谷市文化スポーツ課参事 山田 由里子



7月5日（水）午後に実施の環境パトロールに参加し、小千谷駅及び駅周辺、蕨生の成人向け自販機、防災公園、信濃川東側の橋脚辺り及び市内商業施設を巡回しました。

初めての環境パトロールでしたので少し不安でしたが、それぞれの場所で不審者を見かけませんでしたし、蕨生の成人向け自販機は販売終了し、撤去を待つばかりのようでした。また、商業施設の従業員の皆さんからのお話は問題行動のある青少年は見かけないとのことで、安心しました。

ある商業施設では、「大谷翔平さんの試合中のごみ拾いの影響なのか、子ども達が店内や敷地内のゴミを拾ってくれるので、きれいになるんですよ。店内の休憩スペースも利用後は机を自発的に拭くなど、マナーが良いんですよ。」と嬉しいお話をお聞きすることが出来ました。子ども達は大人の姿を見て育つと言いますが、我が身は良いお手本になっているのか考える機会をいただきました。環境パトロールは、大人の学びの場でもあるんですね。

一つだけ心配したことは、駅で駆け込みが見られるとのことでした。学校生活は学習に部活動に友達との交流にと忙しいでしょうけど、出来れば余裕を持って行動しましょう。時間に余裕があれば自然と心に余裕が生まれます。心に余裕があると視野が広くなり、客観的に物事を把握できたり、トラブルが発生しても焦ったりせずに冷静に的確な対応を取ることが可能と言われています。また、魅力的に見えるそうです。



私も余裕を持って行動するなど、子どもが見る大人のお手本になれるように心掛けたいと思います。

7月は「青少年の非行・被害防止全国強化月間」です  
青少年を非行・犯罪・被害から守りましょう！

☆～「愛の一声」～☆ 令和5年6月～7月

街頭声かけ活動での委員さんの感想を一部抜粋してご紹介します。

- ・初めての声かけで最初は抵抗がありましたが、返事をもらえてうれしかったです。声かけをすることが抑止力になっているように感じました。
- ・土べたに座り、見た目が悪い生徒に注意をしました。
- ・危険な場所や子ども達が集まりそうな場所を確認しながら地域をまわることができたので良かったと思います。
- ・初日ということもあり、どの様に声を掛けたいのかとまどったが、先生が慣れていて心強かったです。
- ・自転車で下校している集団の中で、後ろからくるトラックをよく確認せず渡る子がいて声を掛けました。



令和5年度の街頭声かけ活動がスタートしました。新しい補導委員さんは、知らない子ども達や地域の皆さんに声をかけることに初めは勇気があるかもしれませんが、皆さんの勇気と愛情で、見守りや「愛の一声かけ」をしていただくことが、小千谷の子ども達が安心して生活できる環境作りに大いに役立っています。ありがとうございます。

〈青少年育成センター〉